

JFPAは7Aの実現を目指します!

- ① Adolescent 思春期保健の推進
- ② Abortion 安全な人工妊婦中絶
- ③ Access どこでも誰もがサービスを受けられる
- ④ Advocacy 啓発・提言活動
- ⑤ AIDS STI及びHIV/エイズの予防
- ⑥ Ageing 高齢化社会対策
- ⑦ Abuse 児童虐待の防止

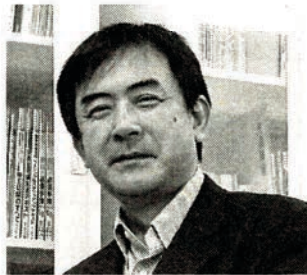
家族と健康

健康教育情報紙

一般社団法人 日本家族計画協会
 リプロ・ヘルス推進事業本部
 健康教育推進中央
 協力：公益財団法人予防医学事業中央
 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
 電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp
 発行人：北村 邦夫 編集人：三橋 裕行 henshu@jfpa.or.jp
 毎月1回1日発行 年購読料¥3000+税 1部¥300+税+印

平成28年度 家族計画研究集会in岡山

10月5日「LGBTへの理解を深める」をテーマに開催決定



中塚幹也氏

岡山大学大学院保健学研究科教授。産婦人科医として、性同一性障害の診断、ホルモン療法、手術療法を施行。2010年よりGID（性同一性障害）学会理事長。2015年、性同一性障害の安全で専門的な診療に向けて認定医制度を開始。2016年、GID（性同一性障害）学会認定医。日本精神神経学会性同一性障害に関する委員会委員。



北村邦夫本会理事長

「LGBT」として生きていく。これらを受けて、本年度の家族計画研究集会で、

◎求められるLGBTへの正しい理解
 文部科学省は2015年、性同一性障害、同性愛などを含む性的マイノリティ（LGBT）の子どもについて配慮を求める通知を全国の国公

立、私立の小中学校などに行っています。同省が14年に行った調査によれば、その前年度に、身体的な性別に違和感を持ち、学校に相談した児童生徒が全国に少なくとも606人在籍していることが明らかになり

ました。一方、本会が実施している「男女の生活と意識に関する調査」によれば、「15歳までに知るべきと思うこと」という質問に対し、「多様な性のあり方」との回答は、02年の調査で50%程度であったのが、14年の調査では65%に迫っています。また、性教育などでもきちんと性の多様性について教えるべきとの声が寄せられています。

本年度の「家族計画研究集会」は、10月5日、岡山市の岡山コンベンションセンターで開催されます。メインテーマは「LGBTへの理解を深める」。プログラムの詳細が決まり、参加者の募集が始まりました。

◎当事者を変えたディスカッション
 研究集会では、まず専門家の立場から、岡山大学大学院保健学研究科教授の中塚幹也氏より「LGBTへの理解を深める」と題した講演をいただきます。

続いて、北村邦夫本会理事長の進行により、パネリストとして生きている自分か」を行います。パネリストは中塚氏に加え、LGBTの当事者の皆さんにご登壇いただき、ご自身の経験に基づき、貴重なお話を伺います。

◎健やか親子21全国大会の併設集会として
 本研究集会は、健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会。詳細は2面）の併設集会として開催いたします。本大会への参加の有無にか

の参加には、事前のお申し込みが必要です。皆さまお誘い合わせの上、ぜひ本研究集会にご参加ください。
 ＊＊＊